

		指導者	松橋 裕美
主題名	将来の自分について考える	内容項目	1-(4)
ねらい	毎日の生活を振り返ることを手掛かりに、自分の生きる姿勢の延長線上に自分の未来が存在するのではないか、自分の未来は自分が作っていくものなのではないかという気付きを得る機会を設け、理想を実現するための的確な判断力を育む。		
資料名	「本当の自分を見つける方法」(高校生の「道徳」とともに歩むー今を、そして未来へー)		
主題設定の理由	与えられた課題には、比較的真面目に取り組むことが出来る生徒が多い。しかし、将来の自分の姿を具体的に想像したり、未来をどう築くのかといった問題を考える生徒は殆どいない。一人一人の生徒が、静かに現在の自己の在り方について内省し、進路選択の枠を超えて、自分の人生は自分が選択し、築くものなのだという意識を持つ一助として本主題を設定した。		
展 開			
	学習活動(発問と予想される生徒の心の動き)	指導上の留意点	
導入	<p>○資料を読む前に、自分なりに「本当の自分とは何だろうか。」という問いに向き合い、答える。</p> <p>本当の自分とは何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> よく分からない。 考えたことがない。 自分が本当にしたいことをしている状態。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間一般についての問い掛けであることを確認し、自己が存在することの意味について考えることの意義を意識させる。 内省する場の入り口に立ったという雰囲気をつくる。 	
展開	<p>○資料を読む。</p> <p>○ワークシートに従って、「アイデンティティ」について考える。</p> <p>「アイデンティティ(自分はこういう人間であるという自覚)」は、人間にとってまた自分にとって必要だと考えるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要である。→自分が何者なのか分からなくなってしまったから。 必要ではない。→自分がどういう人間なのか簡単に分かるものではない。自覚しなくても生きてはいける。 <p>○「人間とは、彼がいつもしているところのものである。」という内容を、自分の問題として考える。</p> <p>○ワークシートに従って、中学1年生及び現在の自分の生活や考えについて振り返る。</p> <p>中学1年生だった頃の自分を振り返り、その頃高校生活に対して抱いていたイメージや希望・期待を思い出してみよう。</p> <p>現在の自分の生活を振り返ってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> もっと楽しく暮らしていると思っていた。 想像していた以上にやるべきことが多い。 まあ想像の範囲内の生活だ。 <p>中学時代に持っていた希望・展望と、現在の自分を比較してみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料の内容を生徒が自分の問題として考えるためにも、授業者がゆっくりと朗読する。生徒には、その後各自のペースで読み返すよう指示する。 一人一人の生徒が、抽象的な問いを自分の問題として考える道筋を得られるよう配慮しながら問い掛ける。 「人間とは、彼がいつもしているところのものである。」という記述を実感できるよう、自分の生活や経験、思い通りの自分でない部分等をじっくり振り返るよう促す。 本時は、一人一人が自分の在り方・生き方について振り返る時間であることを、静かに自分と向き合う時間であることを確認する。 中学時代の自分の生活や考え方を振り返る中で、当時の生活とまだ見ぬ高校生活に対して抱くイメージとの関係を意識させる。 中学時代抱いていた、高校生活に対するイメージや理想等を思い出す中で、現在の自分の在り方を振り返るよう促す。 	
終末	<p>○ワークシートに従って、現在の自分と高校卒業後の希望とを比較する。</p> <p>高校卒業後の自分に対する希望を言葉にしてみよう。</p> <p>現在の生活と、将来の希望を比較してみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の生徒が、自分の将来について具体的に考えられるよう手助けをする。 現在の生活が未来の自分に繋がることを少しでも実感できるよう、現実・日常としての未来に意識を向けさせる。 	
評価	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人が、未来の自分について考える時間を持てたか。また、未来の自分は現在の自分と繋がっていることに思いを馳せるきっかけが得られたか。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートから、記述内容を確認する。 		

「本当の自分を見つける方法」(『ともに歩む』P93・P94)

- 「本当の自分とは何だろうか。」(P93L4)という問いに答えてみよう。
(本文を読む前に)

- 「アイデンティティ(自分はこういう人間であるという自覚)」(P93L28)は、
①人間にとって必要だと考えるか? < 必要である・必要ではない >

理由

- ②自分にとって必要か? < 必要である・必要ではない >
必要だと考える場合→特にどんな時に必要だと感じるか?

○「人間とは、彼がいつもしているところのものである。」(P94L12) について、		
	1 中学1年生	2 高校1年生
行動	①しなくてはならなかったのでしていた事柄 ②しようと思っていた事柄 ③何となくよくしていた事柄	B ①しなくてはならないのでしている事柄 ②しようと思っている事柄 ③何となくよくしている・やりたいと思っ てしている事柄
認識	①自分はどのようなことをしていたか？ ②自分はどのようなことをしたかったのか？	C ①自分はどのようなことをしているのか？ ②自分はどのようなことをしたいのか？
希望・展望	A ・自分はどのような高校生活を送ると考えていたか？ ・自分はどのような高校生になりたいと考えていたか？	D 高校卒業後 ①20歳の自分は何をしていたいか？ ②30歳の自分は何をしていたいか？

○ A と B ・ C を比較して考えること

○ B ・ C と D を比較して考えること